

—— 芦田川流域の概要 ——

1. 流域の自然状況
2. 流域の社会状況

1. 流域の自然状況

1-1 河川・流域の概要



幹川流路延長 86km
流域面積 860km²



1-2 地形

(1) 芦田川流域の地形



(2) 下流域の変遷



太古の備後灘

太古時代(3~4千年前)に
海水が流入



江戸時代

江戸時代(近世)は
干拓が進む



現在

現在、埋立による
土地造成

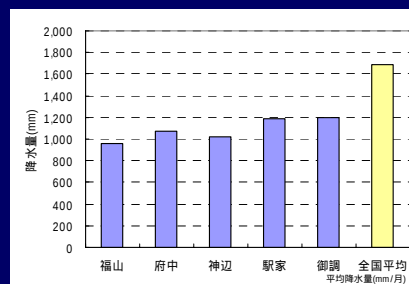
1-3 地質

(1) 芦田川流域の地質



1-4 気候・気象

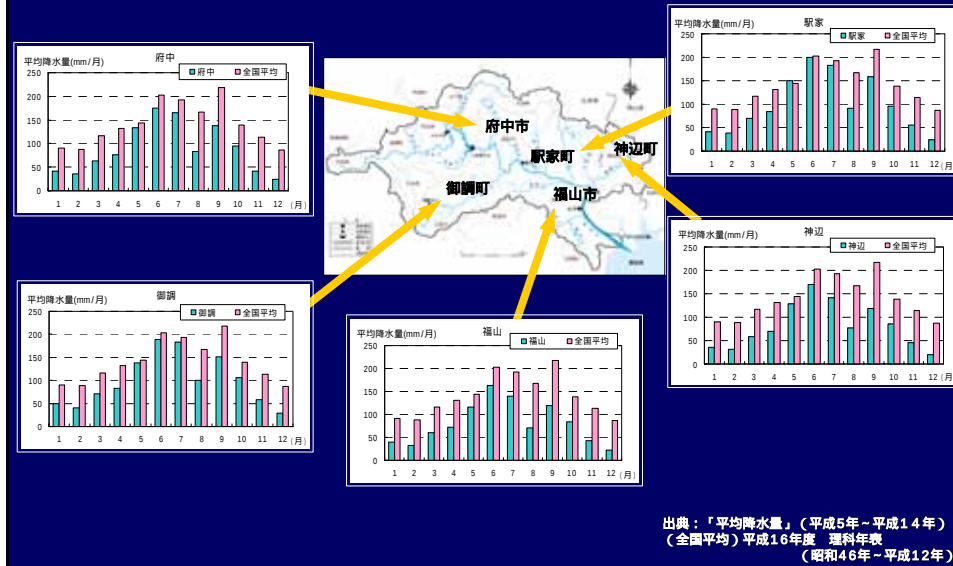
(1) 年間降水量



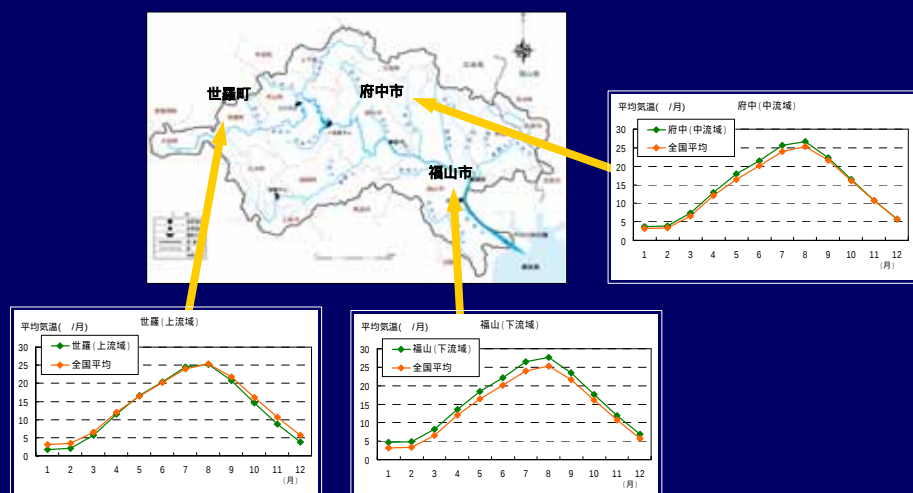
出典：「平均降水量」（平成5年～平成14年）
（全国平均）平成16年度 理科年表
（昭和46年～平成12年）

1-4 気候・気象

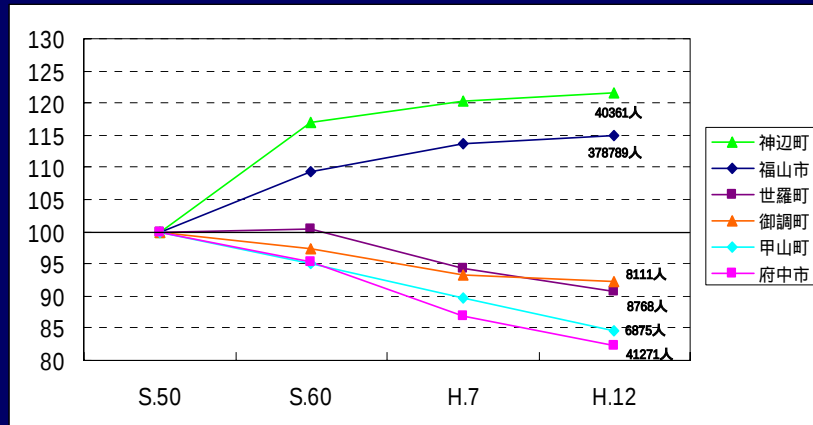
(2) 月別平均降雨量



(3) 月別平均気温



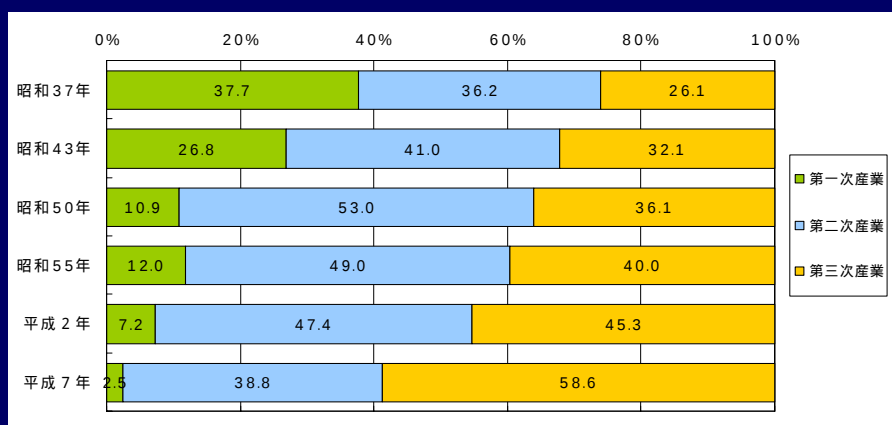
(2) 芦田川流域の関連市町別人口の推移



芦田川流域における関連市町別 人口の推移
(昭和50年を100とした場合)

出典：「広島県統計年鑑」広島県統計協会

(3) 芦田川流域内産業別就労人口



芦田川流域内産業別就労人口の割合

(4) 産業経済

- 昭和39年「備後地区工業特別地域」に指定



軽工業中心の都市から重化学工業主体の産業都市へと転換
＝ 瀬戸内海沿岸地域における中核的な工業拠点

- 平成5年「福山地方拠点都市地域」に指定
 - ・ 都市機能の集積や産業基盤
 - ・ 豊かな自然を活用し、県東部の拠点として地域の総合力を高める
 - ・ 多彩な交流と快適な環境が生まれる地域づくりを目指す
- 平成11年5月「西瀬戸自動車道（愛称：瀬戸しまなみ海道）」全橋開通
広島県尾道市と愛媛県今治市を大小10本の橋がつなぐ3番目の本四連絡橋。